

臨床研究に関する情報公開

当院では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究に関して、個人情報の利用に関する点も含めご質問やお申出等がありましたら、以下の問合せ先へご照会ください。

【研究課題名】

前立腺癌における去勢抵抗性及び悪性度に関与する遺伝子発現解析

【研究責任者、代表者の所属・職名・氏名】

研究責任者：

群馬大学医学部附属病院泌尿器科

講師 関根芳岳

研究代表者：

群馬大学医学部附属病院泌尿器科

教授 鈴木和浩

【研究の目的・方法】(対象となる患者さん、利用する試料、利用するカルテ情報等も含む)

対象となる患者さん：2002年1月1日～2021年12月31日に当院で前立腺肥大症もしくは前立腺癌疑いもしくは前立腺癌の診断で、前立腺生検もしくは経尿道的前立腺切除術もしくは前立腺全摘除術を受けた方

方法：群馬大学医学部附属病院泌尿器科で行われた前立腺生検、経尿道的前立腺切除術、前立腺全摘除術の手術組織標本を使って、以下の遺伝子の発現状況を調べます。この結果と患者さんの背景を比較し、前立腺癌においてこれらの遺伝子の発現がどう関わっているのか検討します。

※評価する遺伝子群

- ①DHEA-S輸送関連 OATP 群(OATP1A2、1B3、1C1、2A1、2B1、3A1、5A1)
- ②脂質代謝関連遺伝子群(LDLR、SREBP2、ABCA1、ABCG1、SRB1、CD36、VLDLR、PCSK9、GPX3、ANXA10)
- ③遺伝子修復遺伝子群(BRCA1、BRCA2、RAD51、FANCA、BARD1)
- ④細胞周期関連遺伝子群(CDK12、RB)
- ⑤アンドロゲン関連遺伝子群(AR、AR-V7)
- ⑥アポトーシス関連遺伝子群(BIRC5、MARCH5/MARCHF5、MCL-1、BCLXL、BCL2、CLU)
- ⑦転写調節因子関連遺伝子群(C-MYC、N-MYC、HOXB13)
- ⑧エピジェネティクス関連遺伝子群(EZH2、FOXA1)
- ⑨PIK3-Akt-mTORシグナル伝達関連遺伝子群(PTEN)
- ⑩ユビキチン関連遺伝子群(UBE2T)

加えて、癌組織内の遺伝子の発現を網羅的に解析して、癌の悪性度に関与する遺伝子を調べられることも行います。

利用するカルテ情報：

- 前立腺癌診断時の臨床背景；年齢、PSA、前立腺組織病理診断（Gleason score など）、TNM 分類、治療前テストステロン
- 去勢抵抗性前立腺癌になった際の臨床背景；治療方法（外科的去勢、薬物による去勢、抗アンドロゲン剤、抗癌剤の種類）、PSA、NSE、ProGRP

【個人情報の取扱い】

研究成果は、学会や学術雑誌などで発表されますが、お名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。

【問合せ先】

群馬大学医学部附属病院

職名 泌尿器科学 講師

氏名 関根芳岳

連絡先 027-220-8317